

6 推進委員会

① 学力向上推進委員会

1 趣 旨

「全国学力・学習状況調査」や昨年度までの「埼玉県小・中学校学習状況調査」、「教育に関する3つの達成目標」等の検証結果の分析を基に、秩父市及び各学校の児童生徒の課題を明確にし、指導方法の工夫改善に力を注ぐとともに、家庭を学びの環境にするための啓発活動の考察を行い、児童生徒一人ひとりの学力向上を図る。また、各学校での読書活動の充実や工夫改善を図る。

2 研究組織

【秩父市学力向上推進委員会】

- | | | |
|--------|------|-------------------------|
| ◎ 委員長 | 新井哲朗 | 西小学校長 |
| ○ 副委員長 | 金子義一 | 秩父第二中学校教頭、江本泰幸 荒川西小学校教頭 |
| ○ 委員 | 22名 | (各小・中学校研究主任等：小13名、中9名) |
| ○ 事務局 | 3名 | (教育研究所 指導主事) |

3 実施時期及び内容等

(1) 第1回学力向上推進委員会

ア 日時 平成26年7月9日(水) 15:00

イ 会場 秩父市芸術文化会館 会議室

ウ 内容

- (ア) 秩父市の目標・重点事項について
- (イ) 1日あたりの勉強時間及び読書時間等の調査について
- (ウ) 「秩父市公立小・中学校学習のやくそく」について
- (エ) ワークショップ型研修
テーマ「家庭学習指導の課題とその改善に向けた手立ての検討」

エ 指導者

埼玉県教育局北部教育事務所 福島 剛 指導主事



(2) 第2回学力向上推進委員会

ア 日時 平成26年10月29日(水) 14:30

イ 会場 秩父市芸術文化会館 会議室

ウ 内容

- (ア) 全国学力・学習状況調査における秩父市の現状について
- (イ) 1日あたりの勉強時間及び読書時間等の調査について
- (ウ) 協議
 - ・「全国学力・学習状況調査結果分析を受けて学力向上のための各学校の具体的な取組について」
 - ・同校区ごとのグループ協議「小中連携の取組」「学力向上への秩父市の取組」



(3) 第3回学力向上推進委員会

ア 日時 平成27年1月27日(火) 14:30

イ 会場 秩父市立西小学校

ウ 内容

(ア) 1日あたりの勉強時間及び読書時間等の調査について

(イ) 西小学校(地域に応じた学力向上推進事業モデル校)からの情報提供

(ウ) ワークショップ型研修

テーマ「西小学校の取組、秋田視察を参考にして来年度の学力向上の取組を考える」

エ 指導者

埼玉県教育局北部教育事務所 福島 剛 指導主事



5 成果と課題

(1) 成 果

- 各学校の学力向上における要である研究主任同士の話し合いや情報交換等が行われ、各学校の校内研修をより良くするアイディア等が多く提示され共有化された。
- 埼玉県教育委員会より秩父市教育委員会へ地域に応じた学力向上推進モデル事業の委嘱(平成25年度より3年間)があり、北部教育事務所の指導主事による指導講評を受けることができた。
- ワークショップ型の研修を毎回取り入れ、学力向上に向けての課題等の意見交換が活発に行うことができた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 学力向上にかかわる効果的な取組をしている学校内の実践について、他校にも広めていく必要がある。
- 地域に応じた学力向上推進事業が最終年度を迎え、その効果の検証とともに効果的な実践を地域の学校に広めていく必要がある。
- 家庭学習や家庭教育等の充実に向けて、系統的な学習指導を充実させていくためにも、小中の連携をさらに進めて行く必要がある。研究主任会(校区の)を開催するなどの取組も考えられる。

2 体力向上推進委員会

1 趣 旨

(1) 目 的

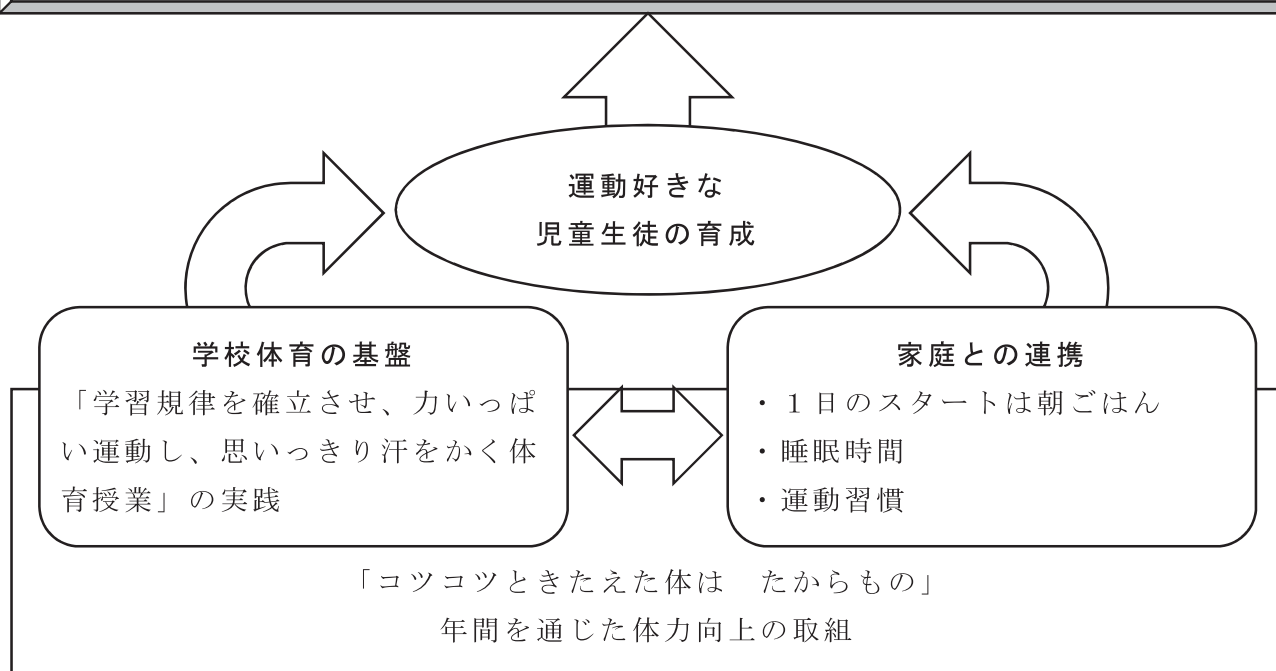
秩父市児童生徒の体力を高めるために、体力向上推進事業の方向性と学校で取り組む基本事項について具体策を協議し、各学校における学校体育経営の改善に資する。

(2) 目 標

秩父市児童生徒の体力向上をめざす（小中の連携を通して）

- 学習規律を確立させ、秩序正しく安全で能率的な授業を実践する。
- 力いっぱい運動し、思いっきり汗をかく授業を実践する。
- 小中9年間の教育活動全体を通して、元気な児童生徒の育成を図る。

9年間を通して、着実に体力を向上させるとともに、元気な児童生徒の育成をめざす



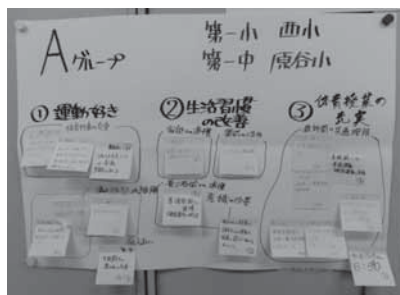
2 研究組織

- ・委員長 島寄 孝夫 高篠小学校長
- ・副委員長 浅賀 俊也 原谷小学校教頭
- ・副委員長 杉山 卓 吉田中学校教頭
- ・委員 市内各小中学校体育主任 22名 合計 25名

3 実施時期及び内容等

(1) 第1回秩父市体力向上推進委員会

- ア 期 日 平成26年9月5日（金） 15:00～16:30
- イ 会 場 秩父市芸術文化会館2階 会議室
- ウ 内 容 埼玉県と秩父市 児童生徒の体力の現状と課題
研究協議 テーマ：「体力向上への取組」



(2) 第2回秩父市体力向上推進委員会

- ア 期 日 平成26年11月28日(金) 13:30～16:30
 イ 会 場 秩父市立高篠小学校
 ウ 参加者 秩父市体力向上推進委員会会員
 エ 内 容 体力向上課題解決研究指定校(高篠小学校)発表への参加



(3) 第3回秩父市体力向上推進委員会

- ア 期 日 平成27年2月12日(木) 15:00～16:30
 イ 会 場 秩父市芸術文化会館2階 会議室
 ウ 参加者 秩父市体力向上推進委員会会員
 エ 内 容 平成26年度秩父市小中学校新体力テスト結果
 研究協議 テーマ:「体育授業の充実を図る取組」



4 施策指標との比較

(1) 第2期「生きる力と絆の埼玉教育プランー埼玉県教育振興基本計画ー」

平成26年度 ～ 平成30年度

○施策指標：体力テストの総合評価で上位3ランク（A, B, C）の児童生徒の割合
○目標値：総合評価 A+B+C の割合＝ 小学校 80% 中学校 85%

総合評価について

文部科学省が示すテストの種目ごとの得点から換算したAからEまでの段階。

（最も高いレベルがA）

自校のAからEの分布の割合を県の割合と比較するなどして分析し、できるだけ、A+Bを増やし、D+Eを減らす取組を各学校で工夫する。

平成26年度埼玉県 総合評価 A+B+C の割合 小学校 81.3% 中学校 85%

平成26年度秩父市 総合評価 A+B+C の割合 小学校 86.0% 中学校 85.4%

【平成26年度 埼玉県と秩父市の総合評価 男女合計】

○：目標値を上回る ▼：目標値を下回る

	A	B	C	D	E	A+B	A+B+C
埼玉県小学校(%)	17.4	32.2	31.7	14.2	4.5	▼49.6	○81.3
埼玉県中学校(%)	25.5	32.0	27.5	12.2	2.8	○57.5	○85.0
秩父市小学校(%)	24.1	34.0	27.9	10.9	3.1	○58.1	○86.0
秩父市中学校(%)	22.4	32.7	30.4	12.0	2.5	○55.0	○85.4

(2) 「埼玉県5か年計画」 平成24年度～平成28年度

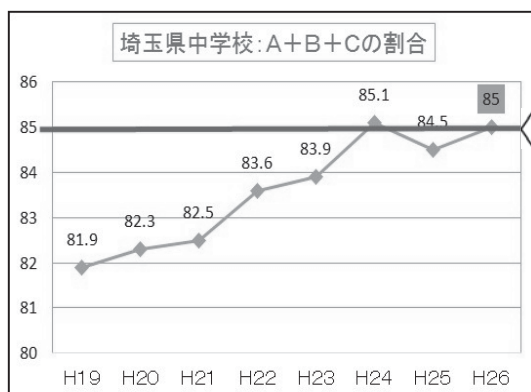
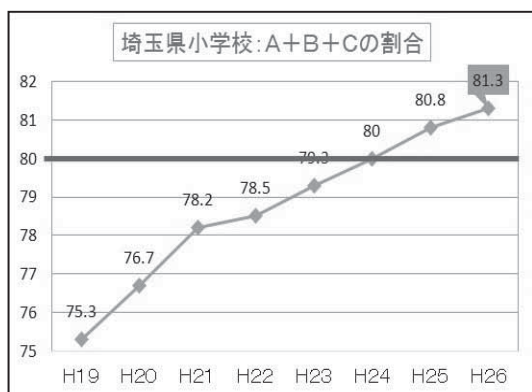
○施策指標：体力テストの総合評価で上位3ランク（A, B, C）の児童生徒の割合

○目標値：総合評価 A+B+C の割合＝ 小学校 80% 中学校 85% 全日制高校 90%

【埼玉県小中学校の総合評価 A+B+C の割合】

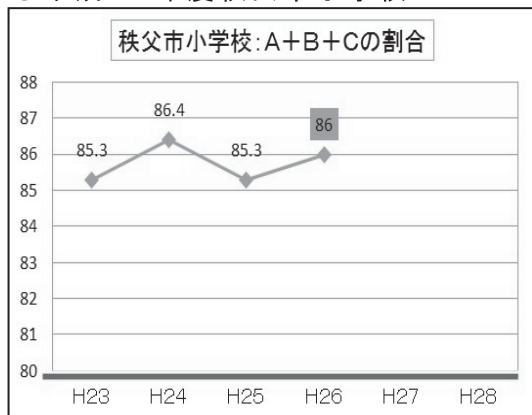
○平成26年度埼玉県小学校 81.3%

○平成26年度埼玉県中学校 85%

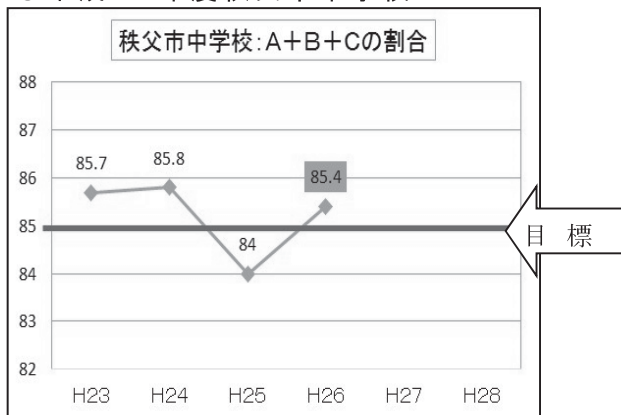


【秩父市小中学校の総合評価 A+B+C の割合】

○平成 26 年度秩父市小学校 86%



○平成 26 年度秩父市中学校 85.4%



※秩父市小・中学校の総合評価 A+B+C の割合は、県と比較して上回っている。

4 成果と課題

(1) 成果

- 「総合評価 A+B+C の割合」や「平成 26 年度市町村別平均値と県平均値との比較」により、秩父市児童生徒の体力向上に向けた課題を明確化することができた。
- 各学校の取組をまとめたレポートを持ち寄り、ワークショップ型の協議を行った。結果、小中で連携して取り組む内容や重点を置いて取り組む内容を共通理解することができた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 総合評価 A+B+C の目標値、小学校 80% 中学校 85%を今後も達成するため、小中の連携を通して体力向上に向けた取組と体育授業の充実を図る。

よい体育授業とは何か

よい体育授業とは何か、明らかになっている要素（要因、楽しさ、条件、構造）について整理する。

1 子どもを惹きつける体育授業の要因

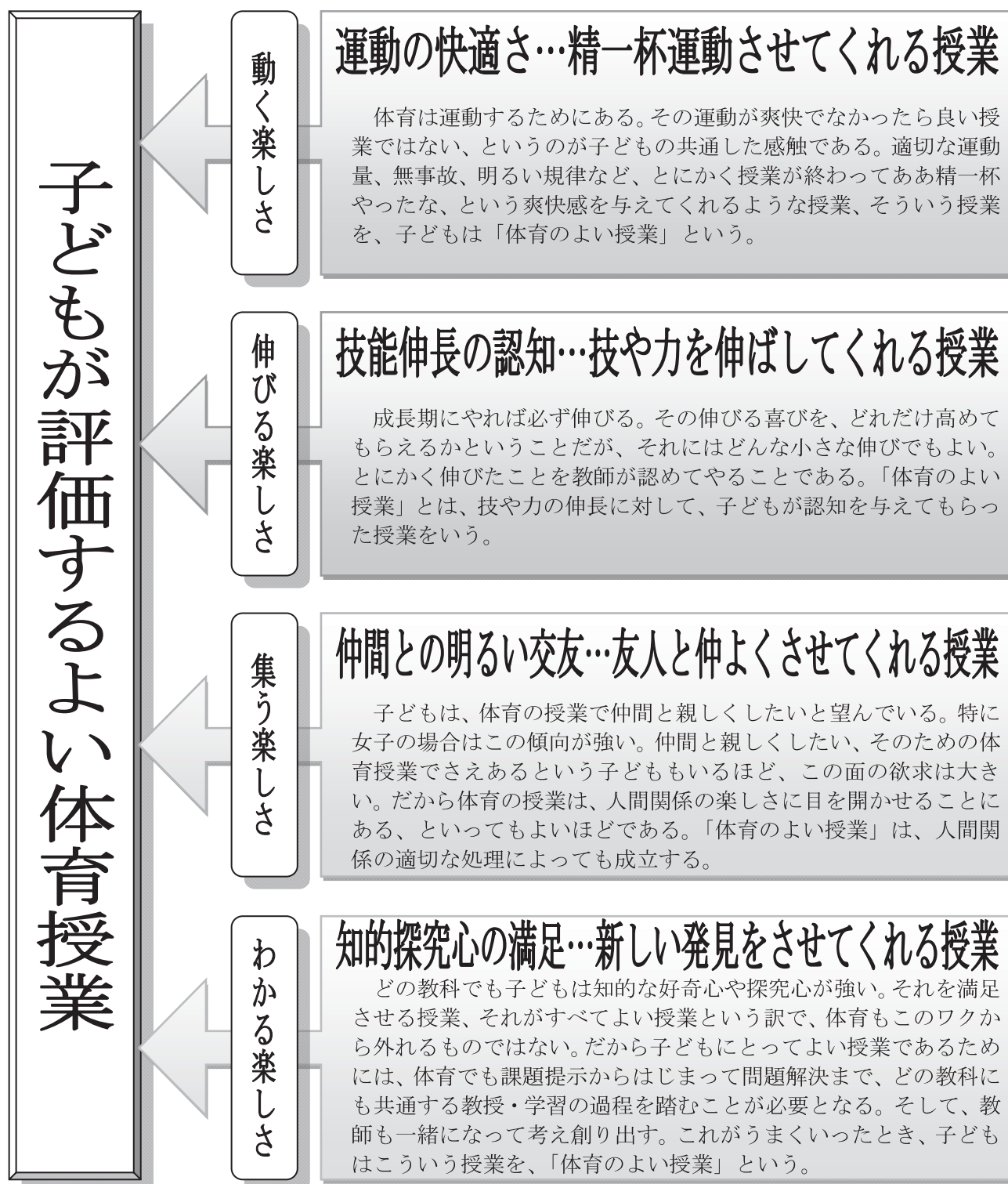
体育授業に児童生徒が惹きつけられ、夢中になって学習に取り組むときは、必ず次の3点が伴っている。①教材のよさか、②指導法の適切さか、③教師その人の魅力か、そのどれかが生かされているときである。あるいはそのすべてがうまくいっているときである。（高田典衛 1977）



【図1】子ども惹きつける体育授業の要因（高田典衛、1977）

2 よい体育授業の四原則

高田典衛は、「子どもはよい授業のよさをよく知っており、よい体育授業とは、子どもがよいと言った授業を指す」と述べており、要点を四項示している。



【図2】よい体育授業の四原則 (高田典衛、1977)

3 よい体育授業の条件

授業の基礎的条件

- 授業のマネージメント
- 学習の規律
- 授業の雰囲気



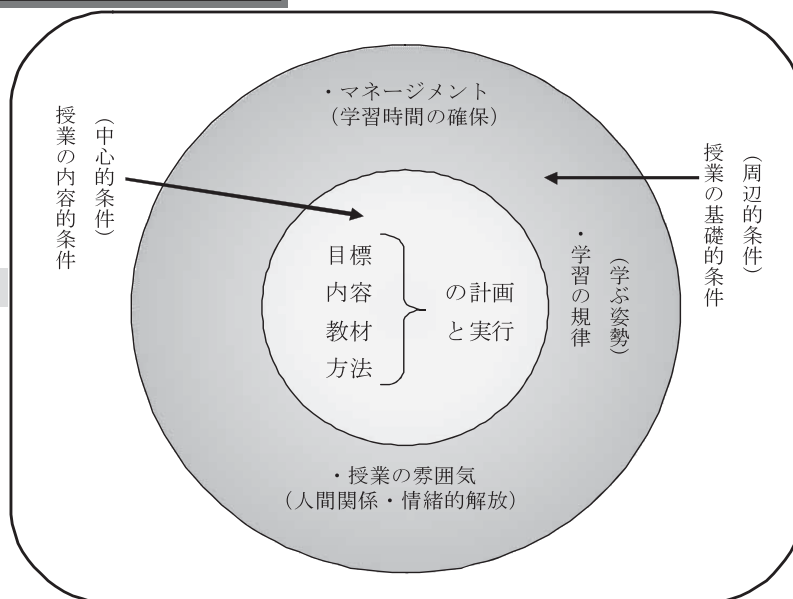
「楽しさ」等情意目標に強く関係

授業の内容的条件

- 授業の目標・内容の設定
- 教材・教具の工夫
- 学習過程・学習形態の適用
- 教師の指導行動



「技能向上」「知的理解」、体育の陶冶目標に深く関係

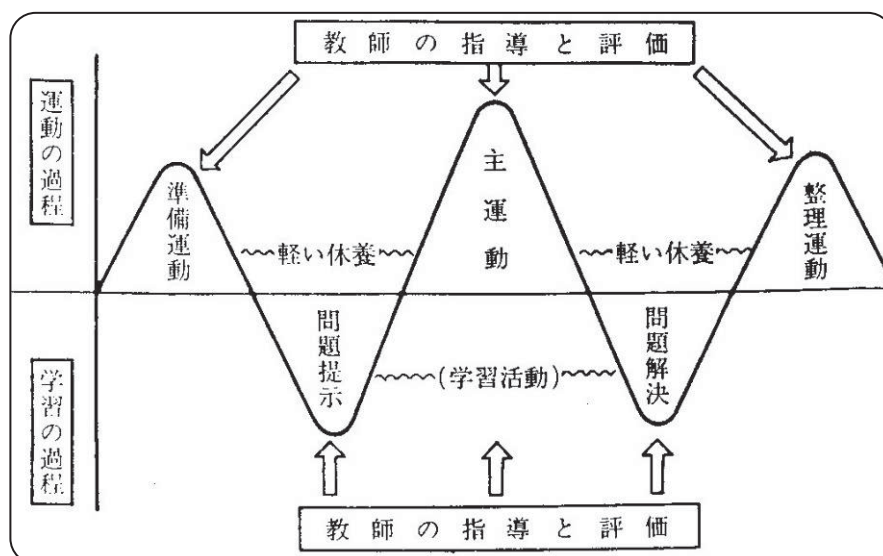


【図3】よい体育授業を創る条件 (高橋健夫、1994)

(4) 体育授業にみられる教師行動

- | | |
|------------|--------------------------------|
| ①マネージメント行動 | → 学習内容に直接関わらないもの(移動、待機、準備の指示等) |
| ②直接的指導 | → 目標、内容、方法に関わるもの(説明、演示、指示) |
| ③巡視観察 | → 学習状況の把握 |
| ④相互作用 | → 発問、応答、フィードバック、励まし、補助等 |

(5) よい体育授業の構図



体育授業は、学習者にとってみれば活発で快適な「運動の過程」であると同時に、教師の教授に応ずる子どもたちの創造的な「学習の過程」にもなるよう構成されなければならない。

【図4】

よい体育授業の構図

(高田典衛、1983)

Ⅳ 外国語指導助手（ＡＬＴ）配置事業

１ ねらい

国際社会に対応した教育施策の一環として、国際理解教育、英語活動及び英語教育を一層充実するため、市内公立幼稚園、小・中学校に外国語（英語）指導助手（以下ＡＬＴ）を配置する。

幼稚園及び小学校においては、言語や文化に対する理解を深め、外国語（英語）を聞いたり、話したりする楽しさを体験する。中学校においては、外国語（英語）を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。

２ ＡＬＴの配置

秩父市内の幼稚園、小・中学校を８グループに編成し、ＡＬＴを８人配置した。

今年度は、派遣によるＡＬＴ８人を、中学校９校と小学校１３校及び幼稚園３園に配置した。

A	B	C	D	E	F	G	H
秩父一中	秩父一中	秩父二中	尾田蒔中	大田中	影森中	大滝中	秩父二中
原谷小	西小	花の木小	尾田蒔小	吉田中	影森小	荒川中	高篠中
_____	_____	南小	高篠小	秩父一小	久那小	荒川東小	吉田小
_____	_____	_____	_____	大田小	久那幼	荒川西小	吉田幼
_____	_____	_____	_____	_____	_____	荒川幼	_____

３ ＡＬＴの年間訪問時間数

１学級あたりの授業時数を、小学校では、１年生及び２年生は１０時間程度、３年生から４年生は１５時間程度、５年生・６年生は３５時間を標準とし、中学校では、授業時数の４割程度を標準に計画した。

４ ＡＬＴとかかわることの意義

（１）幼稚園・小学校

- ＡＬＴと直接触れ合うことで、外国の言葉や文化について体験的に理解を深めることができる。
- 児童に身近で基本的な表現を使いながら、英語に慣れ親しむ挨拶等の活動や児童の日常生活や学校生活にかかわる活動を中心にした体験的な活動を通して、児童の英語におけるコミュニケーション能力の素地を養うことができる。

（２）中学校

- 英語による日常の基礎的な会話やスピーチ等を聞いて理解する能力を高めることができる。
- 英語で自分の考えや思い、情報等を伝えたり、相手の問いかけに英語で応答したりする能力を高めることができる。
- 日常生活における英語特有の基本的な語彙や慣用表現に触れることができる。
- ＡＬＴと直接触れ合うことで、外国の言葉や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。